

うるかむ

WELCOME YAMAGATA! COMMUNICATION FREE PAPER.



山形に避難されている方へ伝えたいメッセージ

CONTENTS

- 一面/純米吟醸「甦る」の酒米「さわのはな」田植え/紅花まつり
- 花の寄せ植え体験
- ココロとカラダとお金のメイクバランス
- みんなの声/しあわせココロのつくりかた(142)
- 星空見学交流会/ITお助けコラム
- 交流相談会/東京電力からのお知らせ
- 旬なお野菜&くだもの通信
- 平清水焼 七右工門窯 ●編集部より

第170号

つながろう! ささえあおう!
復興支援プロジェクトやまがた

TEL 023-674-7311

E-mail kizuna@yamagata1.jp

発行数: 2000部



Fromやまがた

純米吟醸「甦る」の酒米「さわのはな」田植え

当日は、ながい黒獅子まつりが開催され、遠くからお囃子が聞こえています。この祭りの起源は千年前に遡るといわれ、長井市内約40の神社に黒獅子舞が伝わり、様々な獅子頭が各地域

を周って安産や火伏せ、厄除け、子供の成長等を祈願する伝統行事です。心地よい音色の中、泥に足を取られながらも、今年は尻餅をつく方もなく無事に終了。今回はレインボープランに代わって、鈴木酒造の方々が田植え前に畔道作りや、水路の掃除をおこなったところ、思った以上に重労働で大変だったそうです。それでも、田には沢山の生き物が見られ、8月には稲の綺麗な花を見るのが楽しみと話されています。「さわのはな」作りは全てが手作業です。稲刈りまで様々な作業の応援人材を募集していますので、ご協力してください。はご連絡下さい。

今年で13回目となった酒米「さわのはな」の田植えが5月18日(土)に行われ、山形県内外から約50名が参加しました。昨年まで共同開催してこられたNPO法人レインボープランの解散を受け、今回は鈴木酒造店と

きびたき長井甦るの会での新たな酒米づくりのスタートとなりました。

鈴木大介社長は「今までの活動の中で、多くの方々のお陰でここまでこれたことに感謝しています。今後は、私達が「さわのはな」の栽培を引き継いでいく。」と気持ちを新たに挨拶され、一同気合を入れ初夏の暑さの中、田植えを開始。

場所によって水の張り具合が違いため、苗を植える深さに注意しながら皆さん丁寧に植えていました。



一ヶ月後立派に育っています!

【お問合せ】鈴木酒造店長井蔵
TEL 0238-88-2224

Fromやまがた

柏倉九左衛門家 2024 紅花まつり

6月29日(土)・30日(日)の2日間、中山町の旧柏倉家住宅(九左衛門家)にて紅花まつりが開催されました。柏倉九左衛門家は村山地方を代表する豪農として知られ、お屋敷は国の重要文化財に指定されています。

明治9年に紅花栽培は途絶えましたが、平成25年に柏倉家16代当主の柏倉桂子氏の提案により137年ぶりに紅花畑が復活。紅花保存会の有志の手により、今日まで栽培が続けられてきました。

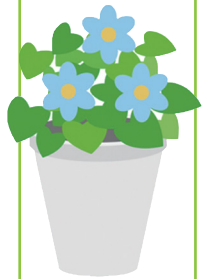
総本家である九左衛門家の前には紅花畑が広がり、丁度見ごろを迎えた紅花が鮮やかに咲き誇り、県内外から家族連れなどで賑わいました。切り花の販売などの他、周辺の会場では紅花染め体験や演奏会なども開催され、初夏のひと時を楽しむ姿があちこちで見られました。



Fromやまがた

わくわくのたねの会

花の寄せ植え体験



から入れること、などのアドバイスを皆さん熱心に聞いていました。花材はジニア(オレンジ)、ペゴニア(ピンク)、カリブラコア(紫・黄)、初雪カズラ(葉物)の4点で、カラフルな花材が揃いました。一年草なので秋まで楽しめるとのこと。

開始後は、皆さん手際よく作業を進め、30分程で完成。講師がそれぞれの作品を見て回り「優雅だ」「可愛らしい」「優等生だね」などの講評を一人一人に頂き、満足した出来栄になりました。

終了後はみんなでお茶の時間。「花は気持ちがるなる」「自分でもやってみたい」などの感想が聞かれました。

7月1日(月)に山形市総合福祉センターにて、わくわくのたねの会、花の寄せ植え体験が開催され、村山地域に避難された方が参加しました。ここふく@やまがた相談支援室が主催し、山形市社会福祉協議会・天童市社会福祉協議会・寒河江市社会福祉協議会の協力で開催されました。

当日は「(有)花のひこうき」の戎野氏

を講師に招き、開始前に手順や注意点

などを教えて頂きました。敷石には軽

石を使うこと、土は最後に流し込むこ

と、ポットから花を出すときは丁寧

に、花は正面を決めバランスを見なが



【お問合せ】

生活再建支援拠点「ここふく@やまがた」相談支援室
(NPO法人山形の公益活動を応援する会・アミル内)
TEL:023-674-0606

寄稿



の
メ
ラ
イ
ン
ス
ク

7月1日に路線価が公表されました。全国平均では、3年連続で上昇しています。コロナ禍が落ち着いて経済活動が活発化して土地の需要も高まったことが大きな要因です。また、マンションや、住宅の需要等が堅調なことも理由の一つです。

この路線価は、贈与税や、相続税の課税価格を計算する際の基準となり、1平米あたりの価格を表します。土地の取引価格の指標となる公示価格の80%程度の価格になっています。つまり、公示価格が上がれば、路線価も上がり、土地を贈与・相続した際の税金も高くなります。

さて、遺産相続などをめぐり、親族間で争いが起こることを争続や争族(あらそうぞく)と呼ぶことがあります。争いを防ぐ一番の方法は、元気なときから話し合っておくこと。場合によっては遺言書を作成ことです。

以前は3世代・4世代同居も多くありましたが、今は核家族化が進んでいます。

相続の話をするハードルは上がっています。普段からコミュニケーションを多くとることが相続の話し合いもやすくなるポイントです。

Communication



ファイナンシャルプランナー/心理カウンセラー 庄司 あきこ
E-mail:info@therapist4everyone.com

とてもネガティブな出来事だったし、取りかえしが見つからないことだったけど、それでも得たものを僕たちは考えないといけないし、強くあろうと思う事だった。あの痛みがあるからこそ同じ痛みを持った人に優しくできるように。それができれば日本が前に進む気がする。

(山形市)

いつでも力を合わせて助け合えるような世界が続きますように。少しでも復興が進みますように。

(仙台市)

13年という時間を、それぞれの形で過ごされていると思います。様々な出来事がありますが、少しでも穏やかな時間があることを願っています。

(仙台市)

毎日楽しいことばかりではないけれど、普通に過ごせる日常に感謝して過ごしたい。

(山形市)

未来のために今から備える！

(山形市)

たくさんの家族が笑っている事が幸せ。あのくるしみを忘れないよ。

(山形市)



2024年3月2日～31日まで東日本大震災追悼・復興祈念事業の関連企画展示「3.11を忘れない」が山形県立図書館で行われました。来場した方からのメッセージをご紹介します。(一部掲載)

「みんなの声」につぶやきを送ろう

あの人に伝えたい一言や、最近思う事、今の暮らしの中のつぶやきなどを募集しています。はがき、又はメールでお送りください。みなさまからの投稿、お待ちしております！

おまちして
ますにゃ



たとえ夫婦であっても、親子であっても、それぞれに別の魂を宿している個の存在です。大切な人だからこそ幸せになってもらいたいと願い、相手に踏み込み過ぎた関わりを持ってしまいがちですが、相手を「どうにかしなくちゃ!」と思っている時ほど、自分のことを振り返ってみてください。相手をどうにかする前に、自分を調えることの方が先決です。特に、関係性の中で何かしらの問題が生まれている時は、自分への問いかけが訪れている時でもあると思うのです。自身が調和のとれた状態になると、発する波動が変わるため、周囲に対して良き影響を与えていくことができます。雰囲気が良くなったというのは、見えない波動が変わっているからなのです。問題が起こっている時ほど、まずは、自分に向き直してみましょう。自分の正しさを振り翳さず、やり方にこだわらず、柔和な心でいられるように。まずは、自分が喜びを感じられる時間をたくさん持ってくださいね。

Fromやまがた

星空見学交流会



6月26日(水)に長井市社会福祉協議会主催の第一回定期交流会が開催され、飯豊町にある、いいで天文台を訪れました。平成18年に開館し、こちらではプラネタリウムの上映はなく、星空観察の拠点施設となっています。

★ 星空案内人の手塚さんのガイドのもと、惑星と地球の距離や日食、流星群についての専門的なお話しから、流れ星の素敵な伝承をお聞きしました。また、今は望遠鏡を直接覗くのではなく、星空をモニターやスマートフォンに映して見る電視観望という手法がトレンドだそうです。

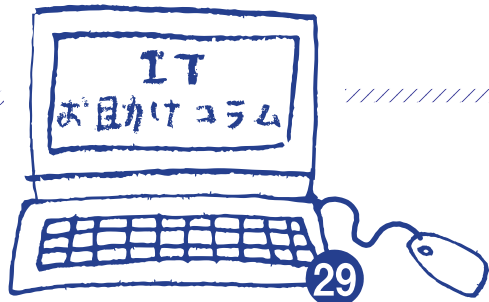
いよいよ望遠鏡とドームが連動し、天井が開くと皆さんから歓声があがり観察開始です。昼間でも星空観察は出来るそうなのですが、当日はあいにく雨雲が深く立ち込め、望遠鏡からは真っ白な空しか見る事ができず皆さんがっかり。

一、遮光眼鏡を使って雲間に一瞬見え隠れする太陽をかくろうじて観察でき、見えた方は「月を見ているよう。」「見たのは小学校以来。」との声があがりました。

★ 星空観察はできませんでしたが、皆さん星空を見るのが一層楽しくなったようでした。その後、避難されている方がシェフとして活躍している「神乃湯ホテル」でランチ交流会が行われ、美味しいお料理を堪能しました。

★

【お問合せ】長井市社会福祉協議会 TEL:0238-88-3711



QRコードを使って便利に



先日、知人から「新しく合唱団を作りたいのでホームページを作って募集したい」という相談を受けました。彼は募集チラシにQRコードを入れ、興味を持った人々がスマートフォンで簡単にアクセスできるようにしたいとのことでした。しかし、ホームページを一から作成するには多くの時間と労力が必要です。

そこで、私はもっと簡単に迅速に利用できる方法として、Googleの無料サービスであるGoogleフォームを提案しました。最近では、さまざまなイベントやプロモーションでQRコードが広く利用されています。先日シンガポールで開催されたロータリー国際大会に出席した際、会場の至る所でQRコードが活用されているのを目にしました。スマートフォンを使って瞬時に詳細情報を取得したり、登録を行ったりできるため、QRコードは非常に有効な手段です。

今回の合唱団の募集活動においても、QRコードを活用

することで多くの人々にスムーズに情報を届けることができるでしょう。結論として、時間とコストを節約しつつ効果的に募集活動を行うためには、GoogleフォームとQRコードの組み合わせが最適な方法です。

(文/伊勢 博)



復興ボランティア支援センターやまがた

質問を受け付けます!

【お問合せ】
NPO法人Yamagata1
E-mail: mail@yamagata1.org

メールで質問を受け付けますので、お気軽にお寄せください。

令和6年度交流相談会(米沢会場)

交流スペースでおしゃべりしていきませんか?
避難生活や、避難元への帰還のことなど、
それぞれのお悩みに対する相談会も開催します!

米沢会場

日時 ■ 令和6年8月25日(日) 10:00~15:00
場所 ■ 置賜総合文化センター(米沢市金池3-1-14)

※やむを得ない事情により、内容の変更をすることがあります。
開催状況は、山形県ホームページを御覧ください。

開催内容

- ◆交流コーナー …… ●まちの保健室 ●情報コーナー
- ◆個別相談ブース …… ●山形県での生活 ●避難元での生活 ●日常生活 ●心の健康 ●なんでも相談

!!個別相談は事前申込が必要となります!!

◆申込方法 …… 「参加申込書」を返信用封筒に入れて郵送(FAX可)または「やまがたe申請」にてお申込みください。

◆申込締切/8月1日(木)

※Zoomによるオンライン相談も受け付けます!
なお、相談者はZoomのインストール(無料)が必要です。



同日開催

当日は、置賜総合文化センターにて「認定NPO法人いわき放射能市民測定室たらちね」(以下たらちね)による甲状腺検診を実施予定です。
甲状腺検診を希望される方は交流相談会の案内に同封された「甲状腺検診申込書」にて、たらちねまで直接お申込みください。

【お問合せ】
山形県防災危機管理課復興・避難者支援室
TEL:023-630-3100

東京電力からのお知らせ

～原子力損害賠償、追加賠償のご案内～

2011年3月11日時点で、福島県中通り地域(29市町村)、浜通り地域(13市町村)、宮城県丸森町にお住まいだった方を対象に中間指針の見直し等を踏まえた追加賠償のご請求者手続きを開始しております。

〈以下の方は、お手元に請求書が届いていない場合があります。〉

- お引越し等でご住所が変更になった場合
- 賠償請求時に「代表者」であった方が、ご逝去された場合
- お名前(姓)が変更になった場合 等

請求書が届いていない方、請求方法がご不明な方は以下【お問合せ】までご連絡ください。
なお、「ご請求書郵送専用ページ」からも請求書の郵送依頼を受け付けております。



ご請求書郵送専用ページ



【お問合せ】東京電力ホールディングス株式会社
福島原子力補償相談室 TEL:0120-926-470

受付時間 9:00~19:00(月~金/除く休祝日)
9:00~17:00(土・日・休祝日)

文部科学省 原子力損害賠償紛争解決センター(ADRセンター)からのお知らせ

ADRセンターは個別の事情に応じて賠償の和解案を提示します



最近の和解成立案件をご紹介します

自主的避難等対象区域から避難した申立人母子(母及び原発事故当時2歳の双子)及び仕事のため事故時住所に残った申立人父につき、家族別離が生じたこと及び未熟児で出生し、発育上の経過観察を要する申立人子らの世話をしながらの避難であったことを考慮して、申立人母子に各5万円の精神的損害の増額分(一時金)の賠償が認められるとともに、平成24年1月から平成27年3月までの面会交通費、二重生活に伴う生活費増加分及び避難雑費の賠償が認められるなどした。



和解合計金額442万円
令和5年9月29日成立 公表番号2007

県南地域において福島県が開発した水稻(販売開始は平成23年とされている。)を栽培する農家である申立人の風評被害による営業損害について、上記品種に原発事故前の価額が存在しないことから、他品種の値動き等を考慮して、令和元年9月から令和3年10月までの逸失利益(ただし、東京電力の直接請求手続における既払金を控除した額。)等が認められた。



和解合計金額53万円
令和5年10月11日成立 公表番号2010

和解事例は、あくまで申立人の個別事情に基づいて和解した例であり、一般的に適用できる基準ではありませんが、ご自身の事例について検討するにあたっての参考となります。

◆お問い合わせ窓口/文部科学省 原子力損害賠償紛争解決センター

TEL 0120-377-155 (平日午前10時~午後5時)



ADR手続の主な流れ



旬なお野菜&くだもの通信

今回は、山形の伝統野菜『薄皮丸なす』をご紹介します。

薄皮丸なすは、南陽市の沖田与太郎氏が昭和20年代に新潟からの行商人を通じ種子を入手し、選抜したのがきっかけとされ、自家用野菜として古くから山形県置賜地域全体で生産されてきました。当初は「沖田なす」と呼ばれていました。その後「薄皮なす」、「薄皮丸なす」と変化していったとのこと。

果実は丸くて小さく、一口大の可愛い大きさで収穫されます。皮が薄く、柔らかいため、浅漬けに人気です。浅漬けは、漬け液を作って漬けます。

なかなか漬けるのは難しいという方もいらっしゃるのでは？グリーンショップはらだ加工センターでは、朝採りの薄皮丸なすをその日のうちに浅漬けにしておりまして、グリーンショップはらだ各店・街なかやおやで販売中です。柔らかくパリッと漬けあがった美味しい薄皮丸なす(各店数量限定)をぜひご賞味ください。



レシピは県のホームページをご覧ください。



その15 薄皮丸なす

野菜ソムリエ上級プロ・食育指導士

山口 美香

(株)グリーンショップはらだHP

<https://greenshop-harada.com/company/>



平清水焼 七右工門窯



【お問合せ】平清水焼 七右工門窯

住 所 /山形県山形市平清水153

T E L /023-642-7777

E-mail /sitiemon@amber.plala.or.jp

定休日 /毎週月曜日、年末年始(12/30~1/5)

平清水焼は江戸期に、常陸の国の小野 藤治平が磁器の製造を始めたのが始まりとされ、200年以上続く、山形で最も古い歴史を持つ焼き物とされています。

材料となる土は、千歳山の東側から陶石を採取し、砕いて粘土にしたものを使います。千歳山の土は鉄分が多く、焼き上げるとゴマのような斑点がでてくるのが特徴です。

七右工門窯では「陶芸体験」を、定休日を除く毎日受け付けています。茶碗やお皿、花器など、お好きなものを作ることができます。小学校などの陶芸教室で一度は体験した方も多いため、ご家族やお仲間と気軽に陶芸体験してみませんか。

陶芸手作り体験教室



陶芸体験は予約なしでもできます
完成までの説明と指導は無料で行っています
陶芸教室の受け付け時間/9:00~15:00

手びねり

絵付け体験

〈所用時間〉約90分

〈所用時間〉約30分

〈料金(粘土)〉●500g…1,650円

〈料 金〉素焼き製品1kg

●1kg…3,080円

1,100円より

※すべて税込み価格です ※焼き上がりから発送まで約1.5カ月
※送料は別料金です

うるかむダウンロードはこちらから <https://kizuna.yamagata1.jp>

編集部だより

みなさまからの情報をお寄せください!

詳しくは復興ボランティア支援センターやまがたへ



次号は

2024年

8月21日

発行です

情報提供や寄稿は
8月1日まで
お寄せ下さい。
お待ちしております。

◆新紙幣が発行になりましたね。皆さんはもう入手したでしょうか? 「福沢」さんとは相性悪かったので、「渋沢」さんとは仲良くやっていきたいですね。(結)

◆思いがけず梅を頂いたので梅シロップを作った。毎日、漬け込んだビンをくるくると傾け、蜜のチェックをしている。自分で育てているようで楽しい。早くソーダ割りで飲みたいな。(安)

◆今年もさくらんぼのお手伝いが終わり、ゆっくりできるかと思いきやシャインマスカットで再招集。若い園主からは作業の動画が送られてきて予習必須です。(茂)

◆夏は玄関先に蚊取り線香が欠かせない我が家。今年は蚊遣り器を新調しようと検索してみたら、種類の多さにびっくり! その中で一目惚れしたのは象が高く伸ばした鼻先にお線香をセツするタイプ。毎日愛でています♡(森)

避難者向けフリーペーパー「うるかむ」

発行元/つなごろう! ささえあおう! 復興支援プロジェクトやまがた

〒990-2412 山形県山形市松山3丁目14番69号「復興ボランティア支援センターやまがた」

TEL.023-674-7311 FAX.023-674-7312

E-mail kizuna@yamagata1.jp WEB <https://kizuna.yamagata1.jp/>



旧Twitter



facebook

<https://www.facebook.com/fvsc.yamagata>



<https://tsunagarou.net/>

「うるかむ」に掲載された今までの記事と、リアルタイムなおすすり情報、イベント情報、支援団体情報などを掲載しています。ぜひご覧ください。

